

打倒 維新へ。

あきらめへん
大阪!

大阪市長選
敗北の
中に見る希望

ジャーナリスト

西谷 文和

Nishitani Fumikazu

せせらぎ出版

はじめに

2023年3月3日午後5時過ぎ、私の事務所に1本の電話がかかってきた。

——大阪維新の会ですけど、そちら『路上のラジオ』さん？

はい。

——西谷さん？

はい、西谷です。

——公開討論会をするそうだが、なぜこんな集会をするの？ どんな内容になるの？ 何を聞くの？

——すみません、ところであなたは維新のどちらさんですか？

——成松や。で、どんな質問をするの？

——大阪市政に関すること、IRカジノや教育行政、子育て政策など一般的な質問をするつもりです。

——3月13日は先約があるので、横山は出席しません。

——欠席ですね？ で、どのような用事があるのですか？

——なんで、それを言わなアカンねん。

——いえ、集まっていたいただいた市民の方に、横山さんは「この用事があるので、欠席です」と説明せねばなりません、どんな用事ですか？

——別件があるんや、別件や。

——用事の内容は言ってもらえないのですね。では欠席ということですか？

——いや、欠席の方向や。調整はする。今のところは欠席や。

——一方的に電話が切れた。ここで少し前後の解説が必要だろう。

2023年春の統一地方選挙、私が一番注目していたのが大阪市長選挙だった。夢洲は大阪市の土地である。カジノ建設のための土壌改良や地盤沈下、液状化対策にかかる費用は一義的には大阪市の負担することになる。万博とカジノでじゃぶじゃぶと税金を突っ込む大阪市は、下手をすれば破産する。この時点で大阪知事選挙は、反維新が谷口真由美と辰巳孝太郎に割れてしまったので、戦う前か

ら吉村庄勝が予想された。

それに対して、大阪市長選挙は1対1のガチンコ勝負。維新からは新人の横山英幸、反維新からは自民党を離党し無所属で出馬を決めた北野妙子。維新は松井一郎が引退し、知名度の低い横山。一方の北野は大阪都構想に反対し、多数のテレビ出演をこなした住民投票勝利のキーパーソン。知事選挙ではなく、大阪市長選挙こそが一大決戦になると予想した。

そこで2月15日に2人に公開質問状を提出した。

質問は2つ。

①夢洲IRをどうするか？

②大阪万博をどうするか？

北野からはすぐに返事がきた。カジノは住民投票を行って、その結果に従う。万博は予定どおり開催する。横山陣営からは締め切りを過ぎても回答が返ってこなかった。なので電話をかけて「回答拒否ということですか？」と質問したら、応対した事務員は「横山に聞いてみます」。締め切りをすぎから回答が来た。カジノも万博も予定どおり推進、だった。

この時点で公開討論会を企画し、3月13日(月)の淀川区民ホールを押さえた。両者とも淀川区の選出議員で、地元の人々に多数来てほしかったからだ。そして討論会への出欠を問う文書を3月1日に郵便書留で送った。出欠の返信は3月9日を締め切りとした。北野陣営からはすぐに出席のハガキが返ってきた。横山陣営からのハガキを待っていた3月3日、成松を名乗る人物から冒頭の電話がか

かってきたのだった。

「はて、成松？」

切れた電話の前で、記憶をたどる。もしかして成松圭太！ 私は2022年11月に「統一教会の闇、安倍政治の闇」まだ止められる大阪カジノ」を上梓したのだが、その巻末に付録として「維新不祥事ワースト10」を書いた。維新はあまりにも不祥事と暴言が多すぎて(苦笑)10に絞るのが難しかったのだが、その輝ける1位に選んだのが成松だ。

私は拙著の中で次のように書いた。



第1位は成松圭太。梅村みずほ参議院議員の公設第1秘書だった。ちなみに公設秘書の給与は税金だ。21年4月25日、コロナで緊急事態宣言が出ているときに、成松は堺市の知人宅に集まって数人で飲酒。そこで知人と口論となり、近所に止めていた車を運転(飲酒運転の疑いが濃い)、午前2時過ぎに知人宅に戻った成松は、その知人を車ではねた上に、さらに車から降りて男性の顔を殴打、殺すぞ、と脅かした。幸い男性は頭や足に怪我を負っただけですんだ。

大阪府警は成松を殺人未遂容疑で逮捕した。梅村みずほ議員はすぐに記者会見し、成松を解雇。会見で梅村は「日頃の勤務態度も真面目で人付き合いもよかった」と釈明。普段から人付き合いがよかったヤツが殺人未遂を起こすか！ 誰かもっと突っ込めよ。

橋下徹が大阪府知事に当選した2008年以来、私は維新の不祥事や暴言をウォッチしてきた。あまたの女性スキャンダルやセクハラ、パワハラ、詐欺的な公金受領、イソジン発言に代表されるお騒がせ事件など、数えきれないくらいの不祥事が続いたが、まさか「殺人未遂」まで。もう驚きを通り越して呆れるしかない。

その後成松はどうなったか？ 被害者と示談が成立して、殺人未遂容疑が傷害事件に格下げされ、なんと不起訴になっている。それどころか、この成松は22年6月に日本維新の会の党職員に再雇用されたのだ。なぜか？ 成松は維新の府議会議員で大阪市西区から出ている横倉廉幸の娘婿なのだ。松井はこの横倉に世話になっていて頭が上がらないと言われている。これは究極の縁故資本主義である。公務員や生活保護受給者、在日韓国・朝鮮人に厳しく、身内に甘い。知人を殴り車で轢いた人物を、党の職員にする。それが現在の維新の会である。



少々引用が長くなったが、この成松が電話をかけてきたのではないか？ そして、成松はこの選挙戦における「メディア担当」なのだそう。もし「不祥事列伝」第1位の成松と同一人物ならば、わずか2年前に「殺人未遂」で逮捕されて起訴されかけた人が、堂々と復活させてもらい、そして今は、マスコミ対策の最前線にいることになる。これって維新の実態を表していないだろうか？ と、ここまで書いて衝撃のニュースが飛び込んできた。なんとこの成松の「雇用主」だった梅村みずほ議員が、参議院本会議で「支援者が（死亡したスリランカ人の）ウイシユマさんに『病気になるば仮釈放させてもらえる』と助言して淡い期待を抱かせ、詐病の可能性を指摘される状況につながったのかもしれない」「ハンガーストライキによる体調不良で亡くなったのかもしれない」と、事実とまったく異なる底意地の悪い発言を行った。さすがに法務委員を更迭されたが、まだ梅村議員は「信念に基づき発言している」と聞き直ったままだ。

この議員にしてこの秘書あり。死者を冒瀆する議員と殺人未遂の秘書。本来なら、これだけで維新の支持率がガタ減りすべきだが、残念ながら「いま総選挙をすれば維新の躍進は確実」と言われている。本書では、なぜこんなことになったのか？ 大阪の反維新側には何が足りなかったのか？ を分析し、「次こそ維新政治を終わらせる展望」を解き明かそうと思う。ぜひ最後までお読みいただき、「まだカジノは止めることができること」「次の解散総選挙こそ野党共闘で戦うべきこと」などについて確信を持つてほしい。あきらめずに声をあげる、そして投票率を上げて政治を変える。暗黒の日本に晴れ間をもたらす。拙著がそんな一助になれば幸いである。

2023年5月

西谷文和

目次

はじめに 2

PART・1 それでも見捨てられへん大阪

【対談】元大阪市長議員 北野 妙子 13

大阪市を見捨てておけない思いで立候補.....	14
公開討論会に来なかった横山英幸候補.....	18
政策を知ったうえで投票するのが民主主義.....	22
反論できない、言いたいことが言えないムードの大阪.....	24
文化や伝統は一夜に崩せても、一夜にはできない.....	27
選挙が終わってから「大丈夫か」と言い出した経済界.....	30
このままでは日本一市民の声が届かない自治体に.....	34
将来の大阪の舵取り役を若い世代に託したい.....	37

PART・2 4年後の選挙に向けて、今からが勝負

【対談】関西学院大学教授 富田 宏治 41

維新の強さを支える3割の岩盤支持層.....	42
敗因は「投票してもどうせ維新やろ」という空気.....	44
遅すぎた反維新側の立候補表明.....	46
実は、ほとんど増えていない維新の得票数.....	48
維新を疑いだした人たちを、どうすくい取っていくか.....	51
絶望せずに、市民運動を盛り上げていこう.....	54
次の選挙までに、いかにチャンスの芽を育てるか.....	58
万博とカジノの問題が噴出する、これからの4年.....	60
本当の民主主義は、多数決ではなく熟議.....	63
自民党が劣化した地域に維新ははびこる.....	65
市民と立憲野党の共闘こそ、これからの希望.....	68

PART・3 なんぼでも言うで。維新は断罪や

【対談】日本城タクシー社長 坂本篤紀

従業員は経費やなくて資産	72
ヘイトスピーチは許さへん！	75
カジノを作らんことが一番の依存症対策	80
金儲けにやらんことを担うのが公共	82
中小企業、正社員、下請けがいて、経済は回る	86
お友だち資本主義のための大阪万博	90
日本が貧しくなった原因は消費税	92
「空飛ぶ車」より「すぐ来る救急車」	95
カジノができれば、大阪はマフィアの街に	99
昔の郵便局はおばあちゃんの味方やった	104
夢洲を埋め立てる金で、住みよい街ができる	106

PART・4 立憲民主党よ、原点に立ち返れ！

【対談】ジャーナリスト 横田一

統一教会の聖地で票を減らした安倍陣営	112
山口4区は「安倍帝国」から「林帝国」へ	115
二世、三世どころか四世議員誕生	118
山口2区は本来の野党共闘が大善戦	120
奈良県知事選での保守分裂を突いた維新	123
和歌山の補欠選挙でも自民は自滅	126
立憲民主党を希望の党の流れから取り戻せ	128

PART・5 「お祭り資本主義」で大阪は破産へまっしぐら

【ルポ】ジャーナリスト 西谷文和

トラックの土からも疑われる業者の利権	136
心配される現場の作業者の健康被害	137

PART.1

それでも 見捨てられへん大阪

【対談】
元大阪市会議員
北野 妙子

※この対談は2023年6月6日に行われました。

「維新圧勝」を支える巨大利権による集票マシン	138
「対案」は中止か、鶴見緑地で縮小開催	140
閑古鳥が鳴いていた2022年のドバイ万博	143
今からでも回避できる大失敗と大赤字	145
あとがき	147

大阪市を見捨てておけない思いで立候補

——今日のテーマは「それでも見捨てることができない大阪市。市長選挙から見る再生の方向」です。まずは何よりもお疲れ様でした。立候補してもらったことに感謝しています。

北野妙子 いえ、感謝されるようなことは……。

——いやいや、一時は不戦敗なのか？と危ぶまれていましたし、有力候補による1対1のガチンコ勝負。維新がどんな集団なのか、選挙で明らかにするチャンスでもありましたし。

北野 確かに不戦敗という選択はありませんでした。

——立候補を表明されたのは23年2月8日でしたね？

北野 はい、正式には。でも表に出たのは2月1日でした。前日の1月31日に後援会幹部に「出ます」と申し上げたのを、新聞社に裏を取られて記事になってしまっただけ。

——そうか、新聞発表が先。

北野 翌朝、自宅マンションの玄関口に記者さんたちが鈴なりになって（笑）。「あー、えらいこっちゃ」と。まだほとんど相談してないのに（苦笑）。

——維新はあの時点ですでに市長候補を公募で選んで、横山英幸に決定済み。すでに立候補を表明してましたからね。

北野 同じ淀川区の選出ですから、各方面から冷やかされるんです。「がんばりや」というのもありました。「（どっちが勝っても）淀川区から市長が誕生するんやね、ヒューヒュー」（笑）など。

——横山候補が淀川区の府議会議員で、北野さんは市会議員。同じ区内でガチンコ対決。

北野 彼が3期で、私は先に議員になってましたので、新人の頃からずっと知ってました。

——北野さんは5期？

北野 最初は補欠選挙で入ったので、4期プラスαです。

——大阪府知事選挙は反維新側が分裂してしまいました、辰巳孝太郎と谷口真由美に。その上に吉村人气が絶大。「知事選挙はアカンやろな」と早々にあきらめムード。だからよけいに市長選挙に注目が集まった。1対1のガチンコ、なおかつ松井一郎が引退し、横山候補は新人で知名度が低い。そして夢洲は大阪市の土地。北野さんは都構想の住民投票の時に反対の側で奮闘されて、名前はある程度通っている。私を含め、多くの人たちが「大阪市長選挙が一大決戦」と思っていました。

北野 確かにそう言われてました。当時、私は自民党の執行部側にいました。市会議員団の前幹事長

で大阪府連の女性局長だったので、候補者を選ぶ側にいたのです。数多くの方とお会いして、断られては次に行き（苦笑）、みたいな。これを半年以上繰り返しました。

—— 水面下で半年も。

北野 今だから言えますが。

—— 選ぶ側の立場の人が選ばれてしまった。

北野 はい。

—— 大阪市を見捨てておけない、という危機感があった？

北野 はい。ですので、かなり有力な方にもお会いしてました。「この人が出てくれはったら、勝てるやろな」というくらいの方です。最終的に断られたのが1月31日。答えを待っている間に心が揺れました。その方に出ていただくには、いろんなものを犠牲にしていただかなくちゃいけない。ご家庭やお仕事などを。お願いしたその方が、すまなさそうに断られる姿を見ながら「私もし出るとしたら、何を犠牲にするのだろう？」と自問自答しました。当時は淀川区から6期目の市議を目指すつもりで、公認もいただいてました。市議員選挙に専念する準備を、他の行政区の候補者調整と同時に進めていました。

—— 個人的には「北野さんが市長選挙に出てくれたらなー」と思ってました。でも淀川区を車で通ったら、ポスター貼ってあった。やはり北野さんは市議に出はるんやな、と。

北野 でしょ？ だから地元の支援者には確かに混乱は生じます。でも私自身、いろんな方に断られていく中で、捨てないといけないもの、犠牲にするものはあまりないな、と。「誰かが出なアカンのやったら、行こう」と決心したのが、有力候補のファイナルアンサーを聞いた時。もうこれ以上ゴタゴタするのは避けたい、と。

—— だって1月31日。選挙の2カ月前じゃないですか。タイムリミットがもうそこまで。

北野 4年前の、前回の選挙を思い出しました。やはり無所属で出られた柳本顕さん。自民党の推薦で立候補されたのですが、あの時すでに参議院の候補として内定していたんです。それを剥ぎ取るようにして（苦笑）出してもらった。ご本人も相当、抵抗や葛藤があったと思います。

—— 確かに。順当に行けば、ほぼ参議院議員になれる。

北野 選挙ですから、わかりませんが。

—— はい。しかし大阪選挙区の定数が4あるので、自民党候補ならまあ、入りますよ。

北野 それに加えて、柳本さんはそれまで参議院選挙に向けて準備して、事前にエネルギーを割いて

こられたわけで。

——ある種、自己犠牲の精神。実は、柳本さんにもこのラジオに出ていただいているんです。

北野 そうでしたか。柳本さんは大阪にかける愛とか情熱とか、余人をもって代え難い候補者だったものの、参議院選挙、つまり国政にチャレンジする直前。犠牲にしたものはかなり大きかったな、と。あの時のもめた経緯、柳本さんに固まる何週間かの時間消費を考えますと、「次、誰にお願いする？」という相談が入る前に、「もう私が手を挙げよう」と決意しました。

公開討論会に来なかった横山英幸候補

——松井市長は「カジノには税金を使いません」と言っていたのに790億円の公金投入。夢洲でカジノするのは危険やで、って言うてるのに強引に進めてました。都構想は住民投票をするのに、カジノではやらない。誰か出てほしいな〜と渴望してた時ですよ。北野さんの決意を聞いて、私は喜びました。その後「何かできることはないかな？」と。それで大阪市長選挙に限って、横山さん、北野さんで公開討論会を企画しました。

北野 そうでしたね、呼びかけていただいて。

——『路上のラジオ』主催だね。

北野 それも選挙戦の早々に。

——3月13日に。でも横山候補には来てもらえなかった。

北野 出欠の返事を、かなり待ってらっしゃったんでしょ？

——はい。

北野 討論会ですから、たぶんシナリオはないんだろうな、と。

——はい。質問事項は①夢洲IRをどうするか？ ②万博をどうするか？ ③教育や子育て施策、などで、ガチンコで話し合ってもらおう、と。

北野 しかも場所が淀川区民ホールでしたね。

——予約したんですよ。淀川区民ホールは結構行事が詰まってて、予約が難しいんですよ。でも淀川区にこだわって（笑）。お互いの選出区で、地元有権者に来てもらおうと。

北野 両陣営とも知ってる区民が対象で、しかも選挙戦の口火が切られた時期。この公開討論会が呼び水になってテレビの地上波とか、他団体からも公開討論会のお声がかかってくるのかな、と思っていま